



ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸外遊びや散歩を通して秋の自然に触れ、季節を感じる。</li> <li>・散歩中は交通ルールにも触れながら歩くようにする。</li> <li>・着脱など身の回りのことを自分でしようとする。</li> <li>・保育者や友だちと言葉やしぐさでやり取りを楽しみながら遊ぶ。</li> </ul>	行事	長時間保育	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日中の気温差を考慮し、衣類の調節をする。</li> <li>・季節の変わり目なので、一人一人の体調をこまめに見るようにする。</li> </ul>	家庭連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動会と一緒に参加していく中で、子どもと共に過ごす時間を楽しんでもらえるようにする。</li> <li>・気温の変化で体調を崩しやすい時期なので健康状態や園での様子など、丁寧に伝えていきながら連携をとっていく。</li> </ul>	自己評価	
今月の内容(養護・教育)		環境構成			配慮事項		取り組みの状況と保育士の振り返り	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温差があるので、体調を見ながら健康的に過ごせるよう配慮する。</li> <li>・排泄後に言葉やしぐさで知らせたり、便座に慣れる。</li> <li>・名前を呼んだり簡単な会話のやり取りをしながら友だちと関わる。</li> <li>・食材の名前について話したり野菜が出てくる本を読んだりして食べる意欲に繋げていく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・行動範囲も広がり活発になるので、散歩コースの道路の周辺や公園の環境に危険がないように確認する。</li> <li>・落ち葉やドングリなど秋の自然に触れらるる公園を選ぶ。</li> <li>・気の合う友だちと遊ぶ事もあるが、ひとり遊びも十分にできるようにする。</li> <li>・子どもの遊びの状況によって玩具が適切かどうかを見直し、入れ替えをしていく。</li> <li>・食材に興味を持ち楽しく食事が出来るようにパネルシアターや絵本を用意する。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・気温の変化や子どもの健康状態を見ながら衣服の調節や活動の場所を考慮する。</li> <li>・排泄、着脱については、月齢や個人差が出てくるので個々の状況に合わせて、丁寧に関わっていくようにする。</li> <li>・友だちとのやり取りがうまくいかないときには、気持ちを受け止めながら、相手の気持ちを知らせるようにする。</li> <li>・食事を楽しめるような会話や言葉がけをするようにする。</li> </ul>			